

|             |  |
|-------------|--|
| 研究課題名       | 平坦型胆嚢隆起性病変に対する胆嚢洗浄細胞診の有用性  |
| 研究責任者名      | 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎   |
| 研究期間        | (倫理委員会承認後) ~ 2025年3月31日  |
| 対象者         | 2000年01月から2022年12月の間に、広島大学病院で精密検査された胆嚢腫瘍の患者さんのうち、超音波内視鏡検査および内視鏡的逆行性胆管造影検査を施行された方。  |
| 意義・目的       | 画像検査が進歩した現在でも、胆嚢腫瘍の良悪性を画像検査のみで診断することは困難なことが多々あります。画像検査のほかには、胆嚢内の胆汁を細胞診に提出し病理学的な診断を行う方法がありますが、胆嚢腫瘍に対する胆汁細胞診の診断能や検査の必要性についてはまとまった見解がないのが現状です。胆嚢腫瘍に対する胆汁細胞診の診断能や、より正確性の高い採取方法を明らかにすることは胆嚢腫瘍の良悪性診断の精度向上につながる可能性があります。  |
| 方法          | 本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は性別、年齢、血液検査所見、画像検査所見(CT、MRI、EUS、ERCP)、術前・術後病理診断結果等です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)   |
| 共同研究機関      | ありません  |
| 試料・情報の管理責任者 | 広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎  |
| 個人情報保護について  | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。 |
| 問合せ・苦情等の窓口  | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3<br>Tel : 082-257-5193 (内線 4273)<br>広島大学病院 消化器内科 クリニカルスタッフ 古川 大<br>広島大学病院 消化器内科 講師 芹川 正浩   |